

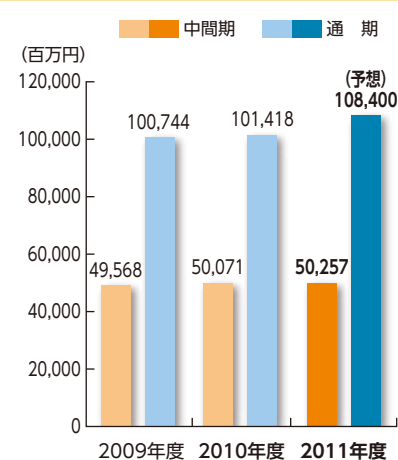
証券コード：4228

第68期 中間報告書  
2011年4月1日～2011年9月30日

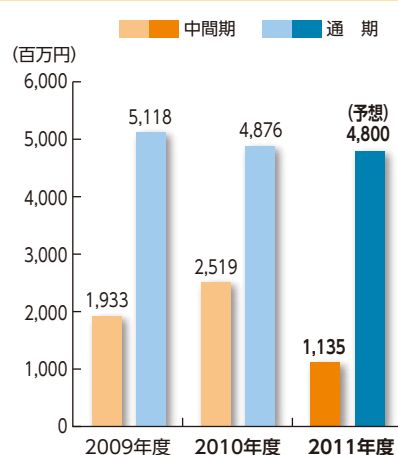
株主のみなさまへ

- 1 連結財務ハイライト
- 2 株主の皆様へ
- 5 2011年度中間期の事業別概況（連結）
- 7 当社CMのご紹介
- 8 社会貢献活動のご紹介
- 9 トピックス
- 11 中間連結財務諸表
- 12 株式の状況
- 13 会社概要

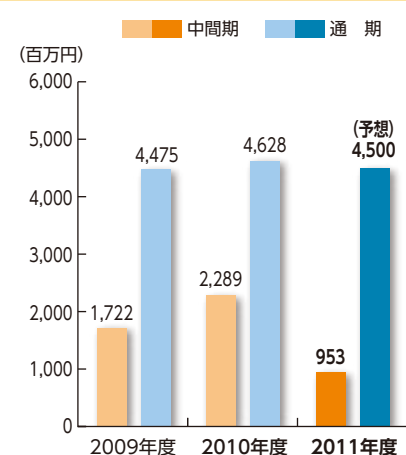
## 売上高



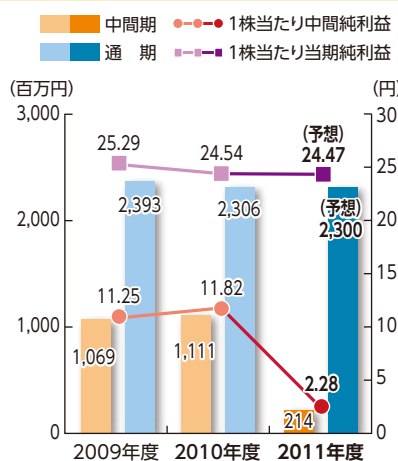
## 営業利益



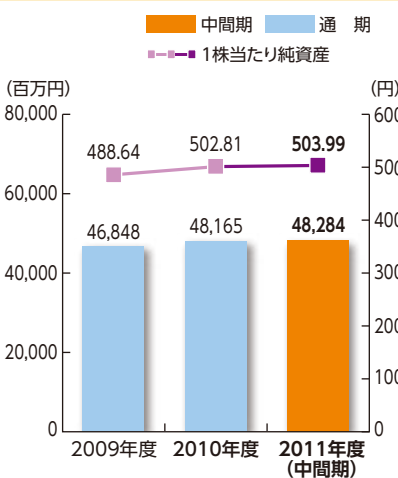
## 経常利益



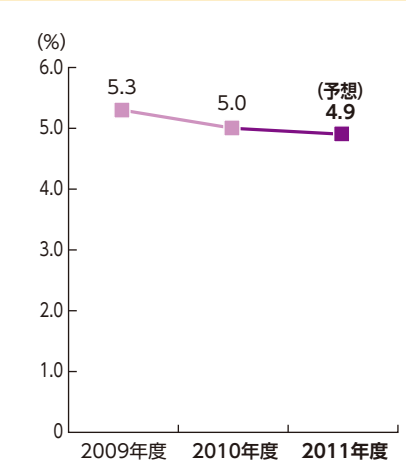
## 純利益・1株当たり純利益



## 純資産・1株当たり純資産



## ROE (自己資本当期純利益率)





代表取締役社長 小野 恵造

## 中期経営計画 「ENS2000」の 2年目を迎えて

本年3月の東日本大震災により被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

### Q 当中間期の連結決算の概要について説明してください。

当中間期における日本経済は、東日本大震災の影響による景気低迷から持ち直しつつあるものの、世界経済の変調や円高の長期化など先行き不透明な状況が続きました。発泡プラスチック業界におきましては、分野によって震災復興需要があったものの、顧客の生産停止などによる需要の停滞に加え、原材料価格の高騰が続き、厳しい収益環境となりました。

このような経営環境のなか、当社グループは3ヵ年中期経営計画「ENS2000」(2010年度～2012年度)において、工業分野を中心としたグローバル展開を基軸としての新たな成長を目指してスタートし、その2年目を迎えました。当中間期の業績は、主として前年同期に好

調であった工業分野において顧客の生産停止の影響により売上高が不振であったことに加え、原材料価格上昇に対する末端製品価格改定が遅れたことなどから、連結売上高は502億5千7百万円、連結営業利益は11億3千5百万円、連結経常利益は9億5千3百万円、連結中間純利益は2億1千4百万円となりました。

配当につきましては、業績に裏付けられた安定配当を持続していくことを基本方針としておりますが、当中間期は誠に遺憾ながら1株につき3円とさせていただきます。年間では1株につき8円を予定しております。なお、中間配当金の支払い開始日は12月2日となります。





## 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

創立50周年を機に当社グループが策定しました「積水化成成品グループ100年ビジョン」は、今後50年間の発展に向けた道筋を描いたものです。その策定にあたっては、グループ員延べ300人以上が参加し、「全員参加」という創業の精神をさらに発展させ、「全員経営」を基本コンセプトとしました。完成した「100年ビジョン」は近視眼的な経営に陥ることなく、長期的な成長を目指すことを社内外に明示しています。

「グローバルに顧客から信頼されるプラスチック・ソリューション・カンパニー」という目指す姿に向かって、環境の変化に応じた進歩や変革を遂げつつ、グループ員全員が一丸となって努力を重ね、成長を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては何卒倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





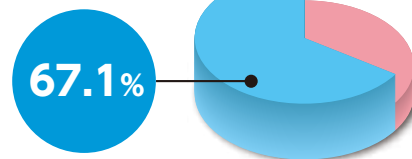
## 生活分野 (ヒューマンライフ)

売上高 …………… 33,712百万円

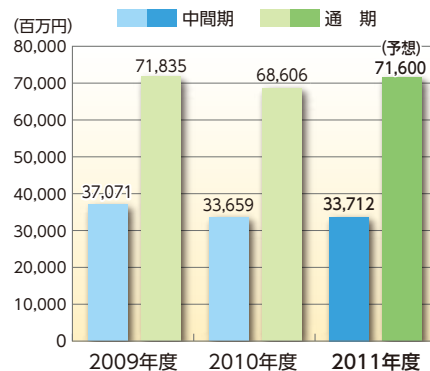
売上構成比 …………… 67.1%

「エスレンビーズ」は、農水産資材関連では需要低調となったものの、仮設住宅向け断熱材の特需などにより売上高は前年同期を上回りました。食品容器・流通資材関連では、「エスレンシート」は、食品トレー・カップめん容器向けの需要好調により売上高は前年同期を上回りました。土木資材関連では、「EPS土木工法」などが公共工事の遅延により売上高は前年同期を下回りました。

■ 売上構成比: %



売上高



低VOC型断熱材 (ESダンマットLV)



カップめん容器 (エスレンシート)



## 工業分野 (インダストリー)

売上高…………… 16,544百万円

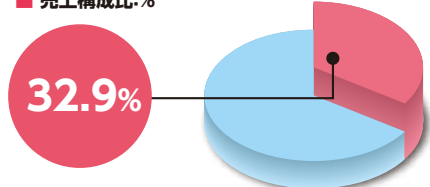
売上構成比…………… 32.9%

自動車部材・産業包装材関連では、「ピオセラン」が、主に第1四半期においてサプライチェーンの寸断による国内顧客の生産停止の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。「ライトロン」は、デジタル家電部材向け表面保護材に採用が拡大し、売上高は前年同期を上回りました。また、床暖房、浴槽断熱などの高機能発泡部材も売上高は前年同期を上回りました。電子部品材料関連では、「テクポリマー」は、液晶テレビパネルなど光拡散用途での海外顧客向け需要回復が鈍く売上高は前年同期を下回りました。

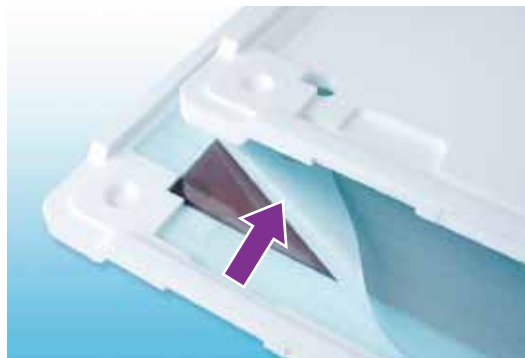
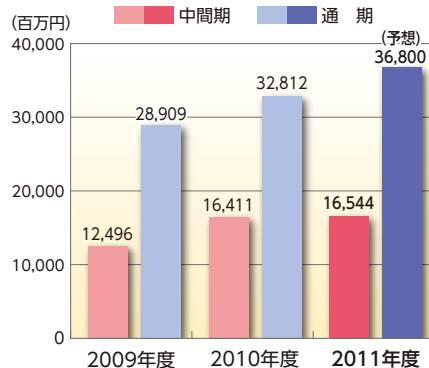


自動車シート芯材  
(ピオセラン)

■ 売上構成比:%



売上高



パネル表面保護材(ライトロンCE)

# ▶ 当社CMのご紹介



当社はこのたび、発泡プラスチックが生み出すソリューションをコンセプトに「積水化成品の【化】説」と称して、緑化編と低燃費化編の2種類（各30秒）の初のテレビコマーシャルを制作しました。

緑化編では「発泡プラスチックが世界中の屋根を緑化したら」というテーマで屋上緑化工法である「スーパーソイレン工法」をもとに都市のヒートアイランド現象の低減を、低燃費化編では「発泡プラスチックが世界中の自動車を低燃費化したら」というテーマで「ピオセララン自動車部材」をもとに発泡プラスチックの省エネルギー性をアピールしています。

このテレビコマーシャルは2011年11月10日から13日TBS系列全国28局ネットおよびBS-TBSのゴルフ番組「2011三井住友VISA太平洋マスターズ」内にて放映されました。また、国際プラスチックフェア（IPF JAPAN 2011）など各種展示会にて活用しております。これにより、当社の知名度アップと発泡プラスチックが社会のお役に立ち、かつ地球環境にも優しい製品であることを幅広くPRできました。



緑化編(スーパーソイレン工法)



低燃費化編(ピオセララン自動車部材)



## 震災ボランティア活動について

本年3月の東日本大震災の被災地におけるグループ員のボランティア活動を支援するため、緊急ボランティア休暇制度を導入し、積極的に推進しております。これまで、気仙沼市、陸前高田市、南三陸町などに多数のグループ員がボランティアとして参加し、被災地の瓦礫撤去や清掃作業などを行いました。

今後も被災地等へのボランティアを継続し、グループ員の社会貢献に対する意識をさらに向上させるよう、また被災地の一日も早い復興の一助となるよう、引き続き活動してまいります。



## 「びわ湖の日」環境保全活動への参加について

滋賀県が毎年7月1日に制定している「びわ湖の日」の趣旨に賛同し、グループ会社全体でこの活動に参加しました。

### エイリアンバスター事業

2011年6月18日に当社グループ員が主体となって、特定外来植物「ナガエツルノゲイトウ」の駆除を滋賀県彦根市の不飲川のますがわで実施しました。このエイリアンバスター事業は、滋賀県の2011年度新規事業で当社が参加企業の第1号となります。

### びわ湖を美しくする運動

7月1日の「びわ湖の日」に、県内を7つの地区に分けて清掃活動が実施され、滋賀県民・行政等と協働して、当社主力グループ会社（株）積水化成成品滋賀やまがわがある滋賀県甲賀市地区の野洲川河川敷で、ペットボトルや空き缶などのゴミを回収しました。



### 「グループ会社の商号を変更」

2011年7月1日をもって、積水化成品グループ全体のシナジー効果を最大限に発揮するため、次のグループ会社について、商号を変更しました。

これにより、国内連結子会社22社中、20社が「積水化成品」または「積水（セキスイ）」のブランド名が商号となります（14ページ参照）。積水化成品グループとして対外的な認知度を高めることにより、グループ経営を強力に推し進め、一層の競争力強化をはかってまいります。

旧商号	新商号
技研化成	積水技研
フォーメック	積水化成品近江
ホクエイ化工	積水化成品栃木
笠原化成	積水化成品茨城
セキホー四国	積水化成品四国
ワコー産業	積水化成品パッケージ
沖縄樹脂化学工業	積水化成品沖縄

### 「米国における『ピオセラン』の生産能力増強と成形工場の新設」

北米内におきまして、「ピオセラン」成形品の自動車部材需要が増加し、さらに日系家電メーカーによる梱包資材の需要増により、米国でのピオセランの認知が進み、採用が増え始めました。

そのため、米国テネシー州のSekisui Plastics U.S.A.,Inc.にて、ピオセラン製造設備の増設を行い、年間約2,000トン弱の生産能力を確保しました。また、その成形品を生産するため、成形工場の新設も完成しました。

今後は、ピオセラン供給、設計、成形品生産、品質保証、販売に至るまで一貫したサービス体制が可能となります。



Sekisui Plastics U.S.A.,Inc. (米国・テネシー州)

## 「台湾にて推進管施工緩衝材(推進力伝達材)『FJ-リング』の販売開始」

台湾都市部における下水道工事や台湾電力による電気幹線の地下化などのインフラ整備事業がますます増加しています。

そのため、当社グループ会社の台湾積水迅速股份有限公司が、台湾国内において推進管施工緩衝材(推進力伝達材)『FJ-リング』の販売を開始しました。推進管を埋設して押し進める推進工法では、曲線となることが多く、その際の推進管の連結部に推進管施工緩衝材(推進力伝達材)として高強度の発泡性ポリスチレンビーズ製の『FJ-リング』が使用されます。

これまでは、台湾ではピオセランを使用した輸送容器などの販売を行ってきましたが、事業拡大の一環として、『FJ-リング』など土木インフラ整備事業分野における新たな展開をはかってまいります。



FJ-リング

## 「国際プラスチックフェア (IPF JAPAN 2011)に出展」

当社は昨年10月27日から11月3日にドイツ・デュッセルドルフで開催されたプラスチック・ゴム展示会「K2010」に出展しましたが、本年も10月25日～29日に千葉県・幕張メッセで開催された日本最大のプラスチック・ゴム総合展「国際プラスチックフェア (IPF JAPAN 2011)」に出展しました。

当社ブースは「明日へ夢をふくらませる オンリーワン テクノロジー&ソリューション」をコンセプトに生活分野、工業分野で幅広く役立っている製品群と、顧客ニーズや課題解決を提案するソリューションビジネスを紹介しました。

同展は開催期間中に43,745名の来場者があり、当社ブースにおきましても多数の商談が活発に行われました。

また、来年4月1日～5日には米国フロリダ州にて開催されます「NPE2012」にも出展を予定しており、さらなるグローバル化を見据えたマーケット開拓を進めていきます。



IPF展での当社ブース

# ▶ 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

期別 科目	当中間期 (2011年9月30日現在)	前 期 (2011年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	45,514	46,167
現金及び預金	6,136	7,176
受取手形及び売掛金	29,111	29,436
たな卸資産	8,607	7,997
その他	1,658	1,557
固定資産	54,936	53,095
有形固定資産	43,434	42,044
無形固定資産	510	524
投資その他の資産	10,991	10,526
資産合計	100,450	99,263

期別 科目	当中間期 (2011年9月30日現在)	前 期 (2011年3月31日現在)
(負債・純資産の部)		
流動負債	36,744	35,582
支払手形及び買掛金	16,916	16,140
その他	19,828	19,442
固定負債	15,421	15,514
負債合計	52,165	51,097
株主資本	44,786	45,042
その他の包括利益累計額	2,587	2,220
少数株主持分	910	902
純資産合計	48,284	48,165
負債・純資産合計	100,450	99,263

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

期別 科目	当中間期 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)	前中間期 (自2010年4月1日 至2010年9月30日)
売上高	50,257	50,071
売上原価	39,443	37,986
販売費及び一般管理費	9,678	9,565
営業利益	1,135	2,519
営業外収益	160	249
営業外費用	342	479
経常利益	953	2,289
特別利益	58	28
特別損失	378	69
税金等調整前中間純利益	632	2,248
法人税等	392	1,109
少数株主損益調整前中間純利益	240	1,138
少数株主利益	26	27
中間純利益	214	1,111

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

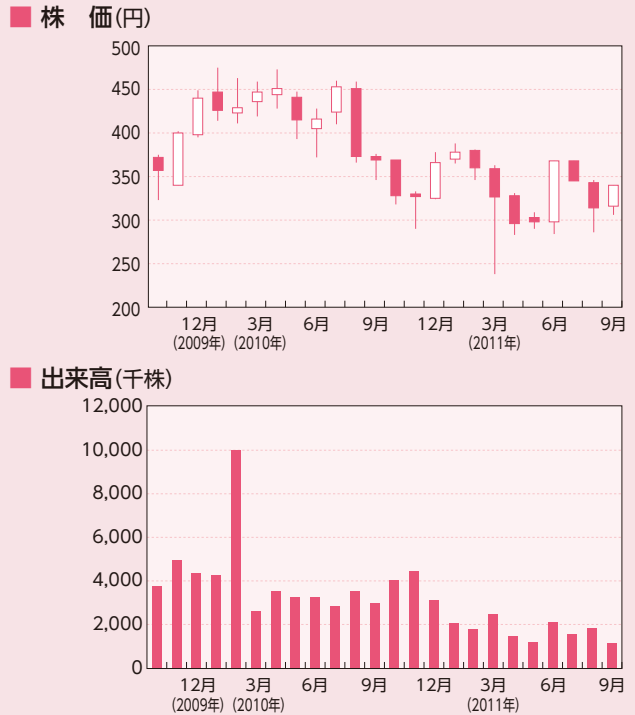
期別 科目	当中間期 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)	前中間期 (自2010年4月1日 至2010年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,798	3,159
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,178	△ 2,291
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 655	△ 663
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 18	△ 53
現金及び現金同等物の 増減額	△ 1,054	150
現金及び現金同等物の 期首残高	7,172	6,307
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	170
現金及び現金同等物の 中間期末残高	6,118	6,628

- ▶ 発行可能株式総数 249,502,000株
- ▶ 発行済株式の総数 95,976,218株
- ▶ 株主数 4,771名

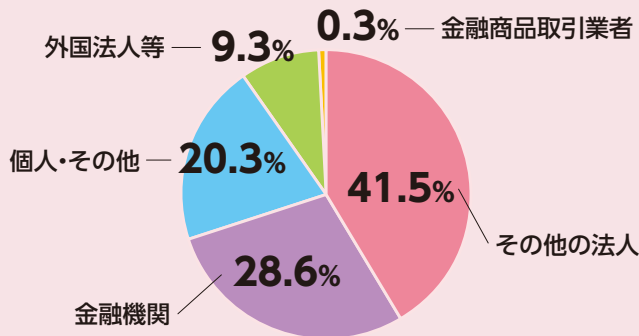
## 大株主

株主名	所有株式数 千株	所有比率 %
積水化学工業株式会社	20,337	21.62
第一生命保険株式会社	6,063	6.44
大同生命保険株式会社	5,672	6.03
積水化成品従業員持株会	3,249	3.45
株式会社エフピコ	2,697	2.86
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,655	2.82
積水樹脂株式会社	2,632	2.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託)	2,550	2.71
旭化成ケミカルズ株式会社	2,500	2.65
住友化学株式会社	2,500	2.65

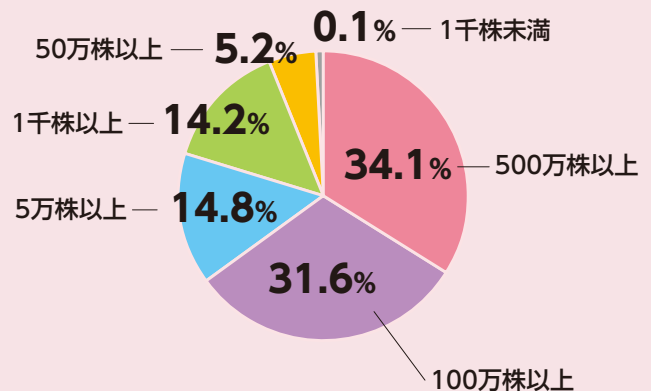
## 株価・出来高の推移 (東京証券取引所 市場第1部)



## 所有者別分布状況 (所有比率)



## 所有株数別分布状況 (所有比率)



(注) 所有比率は、自己株式 (1,937千株) を控除して計算しております。

## ▶ 会社の概要 (2011年9月30日現在)

商号 積水化成工業株式会社  
 (英文商号) (Sekisui Plastics Co.,Ltd.)

本社 大阪市北区西天満二丁目4番4号

設立年月日 1959年10月1日

資本金 16,533,476,176円

従業員数 513名

営業品目 <生活分野>

市場・用途	主な製品・商品
農水産資材	エスレンビーズ
食品容器	エスレンシート
流通資材	エスレンウッド
建築資材	ESダンマット
土木資材	EPS土木工法

### <工業分野>

市場・用途	主な製品・商品
自動車部材	ピオセラン
車輻部品梱包材	ライトロン
産業包装材	ネオミクロレン
電子部品材料	セルペット
医療・化粧品材料	テクポリマー テクノゲル

ホームページ  
アドレス

<http://www.sekisuiplastics.co.jp>

## ▶ 役員 (2011年9月30日現在)

### ▶ 取締役

代表取締役社長 小野 恵 造

専務取締役 東 克 信

専務取締役 中屋 一 徳

常務取締役 佐野 芳 秀

常務取締役 奈良 健一郎

常務取締役 辻村 博 志

常務取締役 柏原 正 人

社外取締役 網本 勝 彌

取締役 池 垣 徹 哉

取締役 三日月 仁 司

取締役 佐々木 雅 伸

取締役 廣 田 徹 治

取締役 辻 脇 伸 幸

### ▶ 監査役

常勤監査役 川 部 道 雄

常勤監査役 佐 藤 幹 夫

社外監査役 満 生 英 二

社外監査役 今 野 照 雄

## ▶ 連結子会社 (2011年9月30日現在)〈36社〉

湘南積水工業株式会社  
株式会社積水化成山口  
株式会社積水技研  
株式会社積水化成北海道  
株式会社積水化成近江  
株式会社積水化成栃木  
株式会社積水化成埼玉  
株式会社積水化成茨城  
株式会社積水化成堺  
株式会社積水化成関東  
株式会社積水化成佐倉  
株式会社積水化成天理  
天理化工株式会社  
株式会社積水化成滋賀  
株式会社積水化成四国  
株式会社積水化成アグリシステム  
株式会社積水化成パッケージ  
セキスイウレタン加工株式会社  
株式会社積水化成沖縄  
株式会社積水化成九州  
株式会社積水化成群馬  
三積エンジニアリング株式会社

Sekisui Plastics Europe B.V.  
Sekisui Plastics U.S.A.,Inc.  
Sekiwoo Plastics Korea Co.,Ltd.  
台湾積水原聚股份有限公司  
台湾積水迅達股份有限公司  
積水化成(蘇州)科技有限公司  
天津積水化成有限公司  
積水化成(上海)国際貿易有限公司  
積水塑膠(香港)有限公司  
積水化成(香港)有限公司  
Sekisui Plastics S.E.A. Pte.Ltd.  
Sekisui Plastics Industrial Materials(Thailand)Co.,Ltd.  
Sekisui Plastics Creative Design(Thailand)Co.,Ltd.  
PT. Sekisui Summitpack Indonesia

## ▶ 事業所所在地

本社	大阪市北区西天満二丁目4番4号(堂島関電ビル) TEL 06(6365)3014	〒530-8565
東京本部	東京都新宿区西新宿二丁目7番1号(小田急第一生命ビル) TEL 03(3347)9615	〒163-0727
東北支店	仙台市青葉区国分町三丁目1番1号(仙台第一生命ビル) TEL 022(262)4175	〒980-0803
中部支店	名古屋市中区栄三丁目1番1号(広小路第一生命ビル) TEL 052(269)3595	〒460-0008
総合研究所	奈良県天理市森本町670番地 TEL 0743(65)0504	〒632-8505

※本報告書の記載金額および株式数については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

## 経営理念

われわれ積水化成成品グループは  
人間尊重と相互信頼を基本に全員経営を実践し  
“新しい幸せ”を目指して  
常にイノベーションをし続けます

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日、期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話：0120-094-777(通話料無料)
公告の方法	電子公告 公告の内容は、当社ホームページにおいてご覧ください。 <a href="http://www.sekisuiplastics.co.jp/koukoku/">http://www.sekisuiplastics.co.jp/koukoku/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行います。
上場証券取引所	東京・大阪両証券取引所市場第1部
※株主様のお問合せ先	積水化成成品工業株式会社 総務部 電話 06-6365-3014